

移動等円滑化に関する好事例・先進事例の共有

日時

令和4年2月18日(金)

12:45 ~ 15:00 ウポポイ視察(エントランス棟総合案内所、体験交流ホール、国立アイヌ民族博物館)

15:00 ~ 16:05 意見交換会



参加者

■視察者:北星学園大学経済学部経営情報学科 鈴木教授
 (一社)北海道視覚障害者福祉連合会 島会長、柴田氏
 (公社)北海道ろうあ連盟 金原常務理事
 (一社)室蘭身体障害者福祉協会 政田会長
 (NPO法人)キウシト湿原・登別 三澤理事長

■随行者:[北海道運輸局]
 バリアフリー推進課 朝野課長、米沢専門官
 [北海道開発局]
 開発調整課 林課長補佐
 都市住宅課 西山都市事業管理官
 アイヌ施策推進課 茂木アイヌ施策推進企画官外
 [アイヌ民族文化財団]
 企画広報部 五百木部長
 [国立アイヌ民族博物館]
 南 副館長



総合案内所のタブレット端末で
手話通訳者と会話をしている



体験交流ホールにて、舞踊上演前に
手話通訳者とともに説明



探求展示テンパテンパにて



第1回交流室展示「ケレ ヤン、ヌカラ ヤン、ヌヤン さわる、みる、きく」

意見交換会における主な発言 (抜粋)

- ・アイヌ文化は神羅万象すべての万物と共生してきた歴史があり、まさにユニバーサルデザイン=共生社会の実現につながる考えである。外国の方々含め誰もがウポポイに来て、楽しめるような施設づくりを一緒に考えていきたい。
- ・スマホのアプリ「ナビレンズ」と「タグ」があれば、視覚障害者に情報提供できる。博物館での導入を検討していただきたい。
- ・総合案内所の多言語、手話通訳対応のタブレットを利用しやすい工夫を。舞踊の際にスクリーンに手話通訳や字幕があれば良かった。
- ・タブレットがあれば、音声情報や活字から情報を得られる。
- ・園内のアクセス(誘導マット等)が不足しているのが残念。若者が利用するインスタを含めて色々なツールを使って情報発信を。
- ・誘導マットや、お金をかけなくても利用できる技術の導入を検討願う。アイヌ語も口承ということで、文字以外に五感を使った展示や伝える工夫をすれば、世界で唯一無二の施設になるだろう。

合理的配慮事例の紹介について（丸文松島汽船株式会社の事例）

- ①船舶の規格の変化はあるが、最新の船ではないのでハード面を変える事は難しく、現状でできる対応をしている。
- ②船舶の乗降口の段差の高さに合わせたスロープを準備する。
- ③障害をお持ちの方を見かけた際には掛け寄り、車椅子を持ち上げたりする。
- ④事前に下見に来ていただくことも多く、実際に見ていただきながら説明をしている。
- ⑤動きが多い方がいる事が分かれば、フロアを貸し切りにしたり、一般の方との利用を分ける等その都度状況に合わせた対応ができるよう心掛けています。
- ⑥トイレの説明等も行い、特に車椅子の方については、船のトイレは狭い事から乗船前後にレストハウス内の車椅子にも対応したトイレのご利用の案内をする。
- ⑦できる範囲での対応を事前に伝えている。

(丸文松島汽船株式会社ご担当者様への聞き取り結果)

以上のように、個人から団体までその規模に応じて適宜対応していただけます。実際に遠足や修学旅行での利用も多いようで、貸し切りにもご対応可能とのお話しでした。

宮城県有数の観光地である日本三景・松島を多くの方に楽しんでいただきたいという思いが伝わってきます。こうしたやり取りや対応が多くの方でごく自然になされることで、移動の円滑化が進んでいくものと思います。

レストハウス及び船内の様子



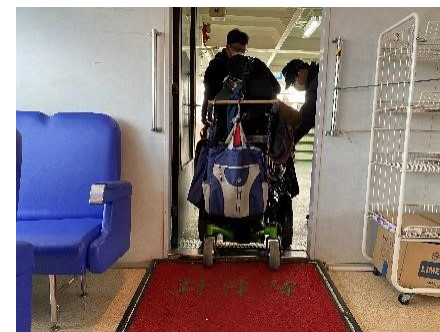
レストハウス内トイレ



貸出用車椅子



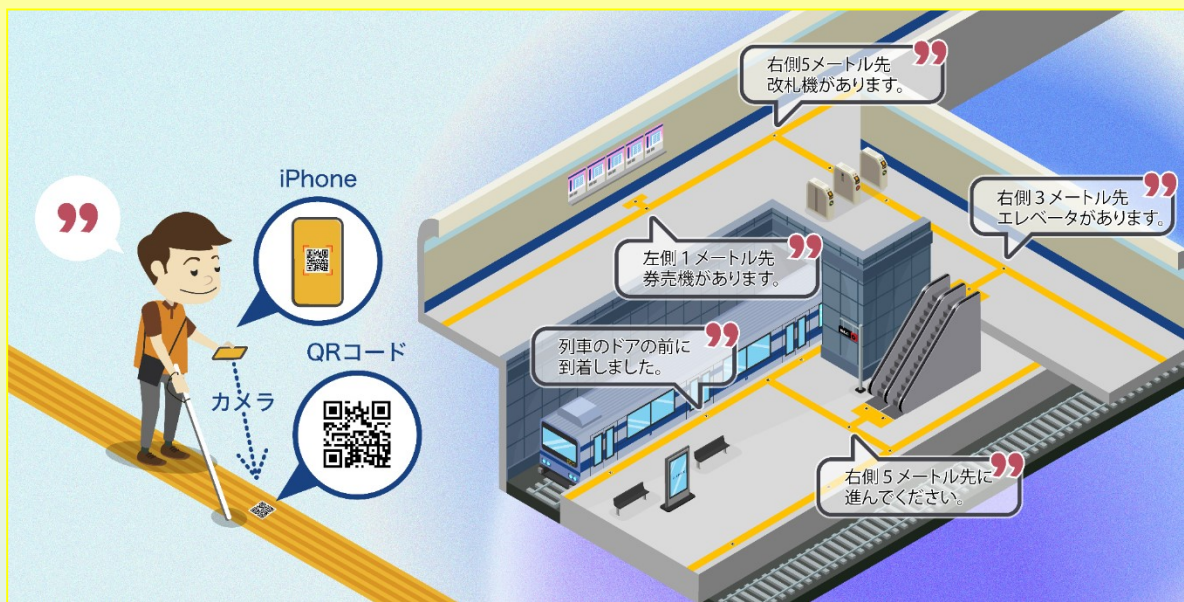
乗船の様子



船内

- 「shikAI」は、全ての人が安心して生活できる世界の実現を目指し、視覚障害者の外出支援をサポートするため開発されました。
- 駅構内の点字ブロックに表示したQRコードを、専用アプリで起動したスマートフォンのカメラで読み取ることで、現在地から目的地までの正確な移動ルートを導き出し、音声で目的地までナビゲートするシステムとなっております。

システム概要



使用方法

- 1 iPhoneのshikAIアプリを起動
- 2 点字ブロックにiPhoneを向けながら移動することで、点字ブロック上のQRコードを自動で読み込み
- 3 目的地候補(出口、改札、トイレ等)が表示されるので、その中から目的地を選択
- 4 音声ガイドが開始。音声ガイドに従い、目的地まで点字ブロックに沿って移動



※shikAIアプリケーションはiPhone向けに作られています。VoiceOver(画面読み上げ機能)の使い勝手が良いことから、視覚障がいを持たれている方にはiPhoneユーザーが多いという現状を考慮したものです。

※iPhoneはApple Inc.の登録商標です。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

- すでに東京メトロ9駅に導入済みとなっており、また東池袋駅から豊島区役所・中央図書館の施設にも導入済み。
- 現在、西武池袋線東長崎駅、JR西日本大阪駅での実証実験を行っており、従来までの技術開発(誘導用ブロック・音声案内)とは全く異なったアプローチで、今後の発展の可能性を持っている。

対応駅・施設

鉄道



東京メトロ各線



銀座線
外苑前駅



副都心線
明治神宮前(原宿)駅、
北参道駅、西早稲田駅



千代田線
明治神宮前(原宿)駅



有楽町線
新木場駅、辰巳駅、東池袋駅
護国寺駅、豊洲駅

開発の歩み

- 2016/12 Tokyo Metro ACCELERATOR 2016 採択
- 2017-2019 東京メトロ総合研修訓練センター、辰巳駅、新木場駅で実証実験
- 2020/8 JR西日本 新神戸駅での実証実験
- 2021/1 東京メトロ5駅がshikAIアプリ対応(App Storeに公開)
- 2021/3 東京メトロshikAIアプリ対応駅が9駅に拡大
- 2021/4 豊島区役所～東池袋駅間がshikAIアプリ対応(自治体初の導入)
- 2021/5 豊島区中央図書館(ひかり文庫)～東池袋駅間がshikAIアプリ対応
- 2022/3 西武池袋線 東長崎駅での実証実験
- 2022/5 JR西日本 大阪駅での実証実験

施設

豊島区役所



東池袋駅



中央図書館

相互接続



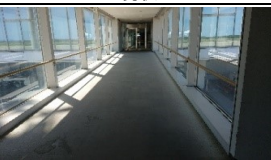
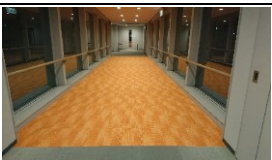



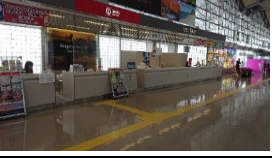
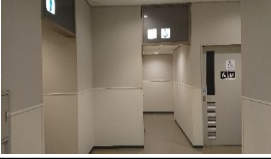


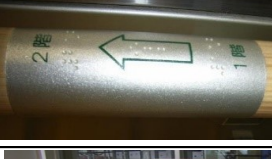




新潟空港構内の バリアフリー整備について

- 1.令和3年度のバリアフリーに関する取組の報告
- 2.整備事例報告
視覚障がい者誘導用点字ブロック設置について
- 3.令和4年度 of 取組 心のバリアフリー教室の開催

新潟空港ビルディング株式会社
Niigata Airport Building Corporation

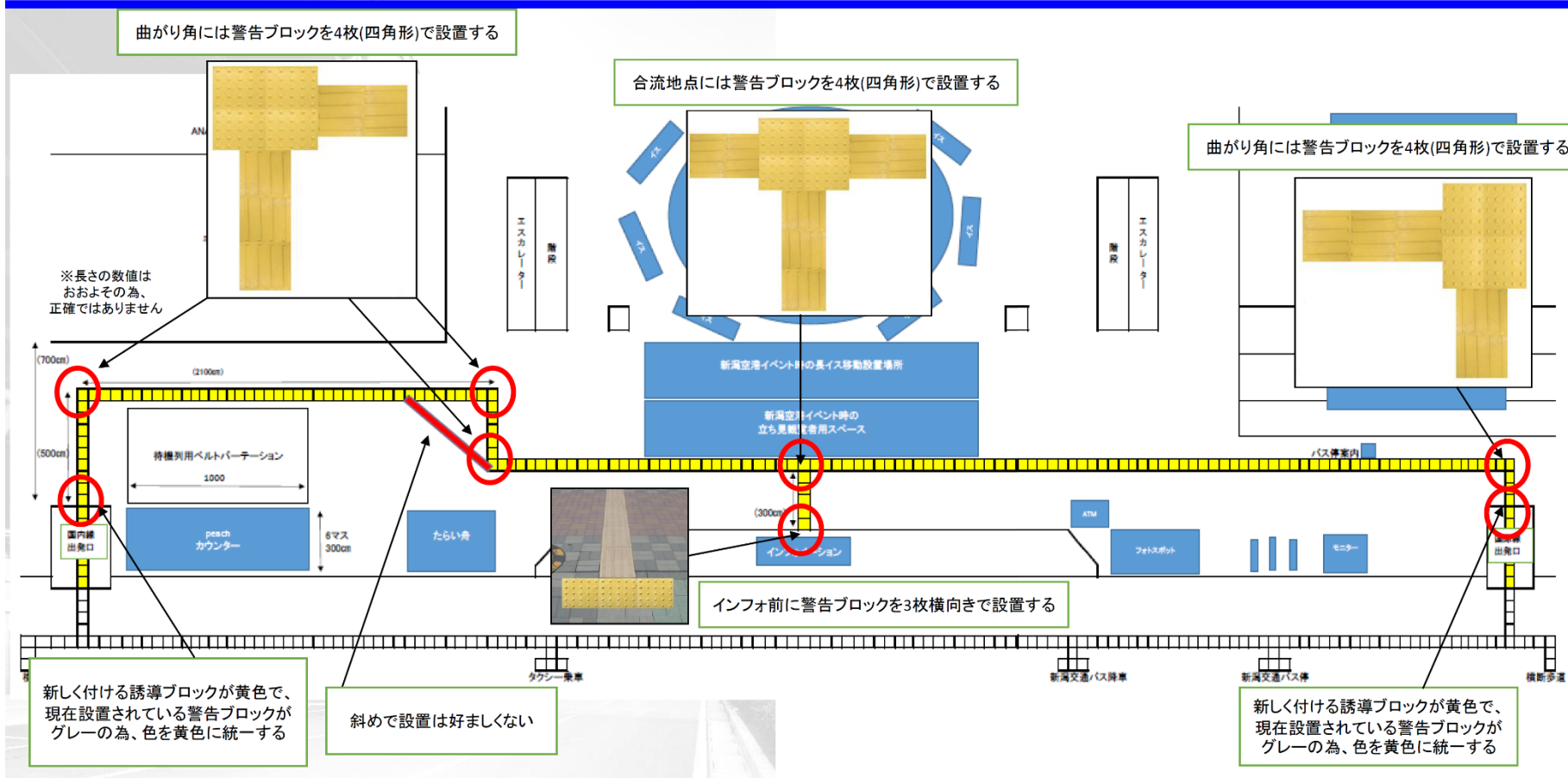
【北陸信越分科会】新潟空港構内のバリアフリー整備

1. 令和3年度のバリアフリーに関する取組の報告

バリアフリー法 不適合項目		現状	改修後写真または改修イメージ	箇所	施工内容	施工時期
1	傾斜路 固定橋の勾配部分がかかるように通路と色を変えていない。			固定橋4箇所(#5～8)	床カーペットタイルを張り替え	令和3年度 2月実施済み
2	トイレ 男子小便器に手すりを設置していない。			館内の公共側男子トイレ全9箇所 1F 国内到着ロビー、1F国際到着ロビー、1F中央ロビー、1F国内手荷物受取、2F出発ロビー、2F国内搭乗待合室、3F国際搭乗待合室、3F飲食店フロア、4F送迎デッキ 1箇所につき、1つ設置	既製品は壁付けで施工となる為、壁補強が必要になり高額となるので、床付けできる手摺を特注品で製作し取り付け	令和3年度 3月実施済み
3	ロビー 床 視覚障害者誘導ブロックを設置していない。(出入口から案内カウンターまで)			国内線出発口と国際線出発口からインフォメーションまで	JIS規格の点字ブロックを床に取り付け	令和3年度 3月実施済み
4	トイレ 出入口付近にトイレ内の構造を示す点字案内板を設置していない。			移動円滑経路のトイレ数 21箇所 1F 国内到着ロビー、1F国際到着ロビー、1F中央ロビー、1F国内手荷物受取、2F出発ロビー、2F国内搭乗待合室、3F国際搭乗待合室	アルミ複合板に点字シート貼りした物を壁に取り付け	令和5年度以降予定※経営状況改善後に実施
5	ロビー 階段 手すり端部に行き先案内の点字を設置していない。			移動円滑経路の階段手摺のみ	点字表記既製品(ポリカーボネート製)を手摺端部に取り付け	令和5年度以降予定※経営状況改善後に実施
6	ロビー 出入口 出入口付近に館内設備を音や点字で案内する設備がない。			館内出入口付近に設置予定場所は未定	点字案内板自立型(館内案内図+自立土台)をタイルに取り付け(4箇所)	令和5年度以降予定※経営状況改善後に実施
7	エレベーター 出入口扉に窓またはかご内外を画像で表示する装置が設置できていない。			館内中央EV3号機 油圧式からロープ式へ入替する時に交換	エレベーター自体を入替	令和5年度以降予定※経営状況改善後に実施
				国際線専用EV4号機 油圧式からロープ式へ入替する時に交換	エレベーター自体を入替	令和6年度以降予定※経営状況改善後に実施

2.整備事例報告 視覚障がい者誘導用点字ブロック設置について

1/26国土交通省北陸信越運輸局交通政策部バリアフリー推進課 及び 視覚障がい当事者様 との打ち合わせの結果



3. 令和4年度 of 取組 心のバリアフリー教室の開催



改正バリアフリー法施行に伴い、不特定多数の人々が利用される空港は、ハード面の他、ソフト面の(心のバリアフリー)部分も対策強化が求められており、新潟空港旅客ターミナルビルでも空港内スタッフがバリアフリーに関する必要な知識、理解を得る教育訓練等を実施し、より接遇サービス向上を図っていきたいと考えております。

具体的には…一人ひとりが多様な人の事を思いやる「心のバリアフリー」に取り組んでいきます。館内総合案内所スタッフや店舗従業員、空港関係者を対象にバリアフリー講習(障がいをお持ちの方や有識者による講演、体験学習等)を進めていきたいと考えております。

障がいをお持ちの方や福祉関係者様
による講演学習



1. バリア(障壁)って何？
2. バリアはどこにある？
3. 心身機能の障害について理解しよう
4. 心のバリアフリーって？
5. 具体的にはどのように対応したらよいか？



体験学習からなる更なる気付き(深み)

- ・車いす体験や介助体験
- ・アイマスク体験
- ・高齢者疑似体験 etc...

主催 国土交通省 北陸信越運輸局 交通政策部バリアフリー推進課

共催 新潟空港ビルディング株式会社

協力 社会福祉法人新潟市東区社会福祉協議会

第4次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画（2019-2022）

（目標）おもいやりの絆でつながる三重

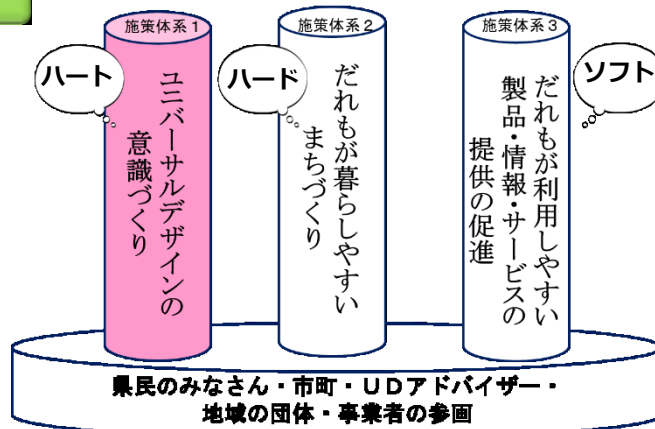
すべての人々がお互いを認め合い、自由に行動・参画できる、おもいやりの行動でつながる三重づくり

〈重点取組〉

- ヘルプマークの普及啓発
- 県有施設や公共施設のユニバーサルデザインに配慮された整備



施策体系の3本柱と進める仕組み



UDアドバイザー養成講座

ユニバーサルデザインのまちづくりを推進し、地域でリーダー的役割を果たす人材を育成するため、UDアドバイザー制度を創設。UD団体※1、市町、市町社会福祉協議会等が、UDアドバイザー養成講座※2を実施し、受講修了した方に対して、県がUDアドバイザーとして認定する。

※1 UDアドバイザーが中心となって活動している団体

※2 平成12年度から23年度までは、県が直接、養成講座を開催し、受講修了者をUDアドバイザーと認定していた。

〈実績〉

平成12年度～平成23年度	1,074名
平成29年度～令和3年度	135名



UD学校出前授業

県内の小中学校、高等学校等において実施している。

- ・ユニバーサルデザインについての基本的な知識の講習
- ・車いす体験、アイマスク体験等の体験講座
- ・UDに関するグループワーク

ユニバーサルデザインのまちづくり出前授業アンケート

質問1 ユニバーサルデザインのまちづくりの響は、わかりましたか？
 ① よくわかった 2. ちょっとわかった
 3. あまりわからなかった 4. 全然わからなかった

質問2 “響”を聞いて感じたことを書いてください。
 [自分には思いつかないこと多いけど、いいなって思った。不自由な人だから、何かをなくしてあげたいなって思ってた。]

質問3 体験をしてみて、気づいたことを書いてください。
 [車いすは、いいけど、こわい。アイマスクを付けて、マスクをいれたら、いいなって思いました。]

質問4 みんなが快適で、くらしやすいまちにするために、あなたは何ができると思いますか？
 [みんなが不自由な人のために、力を尽くす。]

質問5 ユニバーサルデザインについて、もっと知りたいと思いますか。
 ① はい 2. いいえ

ありがとうございました。

第 _____ 号

UDアドバイザー認定証

氏名 _____

あなたはユニバーサルデザインアドバイザー養成講座を修了しましたので、UDアドバイザーとして認定します。

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

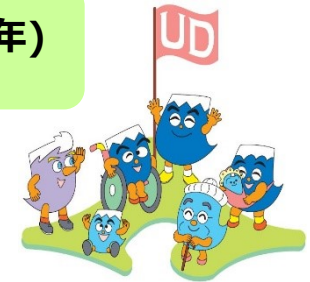
三重県知事 一見勝之

第6次ふじのくにユニバーサルデザイン推進計画(2022(令和4)年度)~2025(令和7)年)
~すべての人が自由に活動でき、お互いを認め合い思いやりあふれる「美しいふじのくに」づくり~

<ハート> 誰もが思いやりをもった共生社会づくり⇒心のUDの促進が重要

<ソフト> 誰もが利用しやすいサービス・情報や製品の提供

<ハード> 誰もが暮らしやすいまちづくり



ハート分野の取組事例

●ユニバーサルデザイン出前講座 (年間約35校)

小中学校等へ職員が出向き、身近な事例を通じてUDの理念を普及。
令和3年度「心のUDパンフレット」作成
http://www.pref.shizuoka.jp/ud/about/ud_heart/index.html

●心のUDプラス実践講座

企業・団体向けに、多様なオーダーに応じて、
様々な人への配慮や対応方法を想定した実技講座を実施。

●声かけサポーターの養成

駅ホームからの転落事故等を未然に防止するために、障害のある方に対する声かけを行うサポーターを養成。



♥ハート + ソフト

●ふじのくにUD特派員による情報発信 (平成26年度~)

ユニバーサルデザインに関心が高い学生に対し、県内のユニバーサルデザインの取組に触れる機会を提供し、ユニバーサルデザインの可能性や魅力等を学生の視点からSNSで情報発信することで、県民の関心を喚起するとともに、ユニバーサルデザインへの理解と多様な主体のUD取組を促進。

●県立学校整備における取組

エレベーター設置、分かりやすい案内、トイレ改善、段差解消等、誰もが利用しやすいように整備、改修。2021年には、**再編整備により廃校となった高校の校舎をユニバーサルデザインに配慮した施設に改修し、「浜松みをつくし特別支援学校」として開校。**

●道路や公共施設等のユニバーサルデザイン

多機能トイレや点字誘導ブロックの整備等、ユニバーサルデザインを積極的に導入。(富士山静岡空港/日本平夢テラス/静岡社会健康医学大学大学院)

ハード分野の取組事例

ソフト分野の取組事例

●「やさしい日本語」の推進

外国人とのコミュニケーション手段として「やさしい日本語」の普及活用を図るため、行政職員や民間企業に研修等を実施。

●多様な食文化に対応した食の提供

外国語メニューの導入、ピクトグラムによるアレルギー表示の促進、多様な食文化に対応した飲食店や食品販売店等を紹介するWEBサイト「ハラール・ポータル」を開設。

●ユニバーサルデザインに配慮した製品等の顕彰

県内の中小企業等が、企画から流通までの間に戦略的にデザインを活用したものを顕彰する「グッドデザインしずおか」の審査基準に使用者の視点に立ったものごとづくり(ユニバーサルデザイン)を設定。

共生社会の実現に向けた条例制定 (H30.4)

● 障がいのある人もない人も幸せに暮らせる福井県共生社会条例
⇒ 社会参加の推進、差別の解消 等

● 福井県手話言語条例
⇒ 手話の普及



【従来】出前講座や手話ミニ講座、障がい者施設での体験交流会など積極的に「学ぶ」機会を設けることで普及啓発を促進
＜課題＞ ● 関心の高い一部の県民にのみ浸透（一般県民に届いていない） ● コロナ社会に適した内容に見直す必要あり

【R3～】み（魅・見）せる共生社会推進事業

日常生活の中で共生社会について考えるきっかけとなるよう「みせる」普及啓発を展開

★ 子ども向け手話アニメ動画「シュワっとDAYS」

手話や障がいへの関心をもってもらうため、県マスコットキャラクター「はぴりゅう」が日常を表現した歌にあわせて手話をする動画を制作



今年度は「シュワっとDAYS」ダンス動画コンテスト開催



★ 共生社会シンボルマークを活用した啓発



↑シンボルマークは、障がいのある方、ない方、高齢者、子どもなど、様々な人が互いに思いやり、支え合う様子をイメージ

★ 手話イラストLINEスタンプの配信 (全24種類)

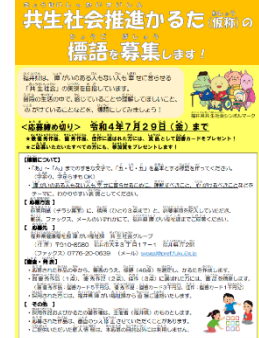
日常よく使う言葉を、県マスコットキャラクター「はぴりゅう」が手話で表現するイラストを制作し、LINEスタンプとして配信



★ 共生社会推進かるたの制作

共生社会のあり方や障がいの特性などについて、遊びながら学べるツールとして「かるた」を制作し、県内小学校等に配布
読み札となる標語は、広く一般の方から募集し選定
＜テーマ＞

障がいのある人もない人も幸せに暮らせるために、理解すべきこと、心がけるべきこと



経緯

★ 第1旅客ターミナルビルリノベーションの経緯
 国際線1,200万人、国内線1,300万人
 (1994年9月開港当初の計画取扱能力)



国際線2,060万人、国内線400万人(2018年度)

計画と実態の
 ギャップ解消が必要

★ 検討会の実施時期：令和3年3月～12月
 ・ フェーズ1
 (検討会 5回、現地見学会 3回、
 トイレショールームでのデモンストレーション 1回 実施済)

<以後、各フェーズごとに現地確認会を実施>

★ 参加者：近畿分科会委員
 + (状況に応じて)委員外の学識者・障害当事者

検討会メンバー

検討会メンバー		委員(役職・氏名)	
【学識者】	近畿大学	名誉教授	三星 昭宏
	公立大学法人 大阪市立大学大学院工学研究科	教授	内田 敬
	国立大学法人 和歌山大学経済学部	教授	辻本 勝久
	大阪大学	名誉教授	新田 保次
【障害者団体等】	特定非営利活動法人 滋賀県脊髄損傷者協会	理事長	前野 奨
	公益社団法人 京都府視覚障害者協会	主席副会長	岡田 多菜子
	社会福祉法人 大阪手をつなぐ育成会	常務理事	小尾 隆一
	NPO法人ちゅうぶ (社会福祉法人 ぼぼんがぼん)	理事	六條 友聡
	特定非営利活動法人 D P I 日本会議 障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議 (特定非営利活動法人 自立生活センター・あるる)	(事務局長)	鈴木 千春
	特定非営利活動法人 兵庫県難聴者福祉協会	バリアフリー部長	渡部 安世
	特定非営利活動法人 W A C わかやま	副理事長	神徳 佳子
【施設設置管理者等】	アクセス関西ネットワーク		吉川 ひとみ
	日本パラリンピック委員会	副委員長	櫻井 誠一
	関西鉄道協会	専務理事	南條 正幸
	近畿バス団体協議会(事務局:大阪バス協会)	一般社団法人 大阪バス協会	常務理事 藤本 和往
	近畿ハイヤータクシー協議会	会長	
	大阪フェリー協会	専務理事	白野 哲也
	近畿旅客船協会	会長	赤坂 光次郎
	神戸旅客船協会	専務理事	井上 誠
	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部	地域共生室長	高見 豊
	一般社団法人 全国空港ビル事業者協会	事務局長	佐久間 真一
【自治体】	大阪府 住宅まちづくり部建築指導室建築企画課	建築企画課長	板田 昌彦
	京都府 建設交通部交通政策課	交通政策課長	瀬野 加津人
	兵庫県 県土整備部まちづくり局都市政策課	都市政策課長	吉田 安弘
	滋賀県 土木交通部交通戦略課	交通戦略課長	渡辺 正人
	奈良県 県土マネジメント部道路保全課	道路保全課長	六車 憲雄
	和歌山県 企画部地域振興局総合交通政策課	総合交通政策課長	中嶋 宏
	大阪市 都市計画局計画部都市計画課 (エリアマネジメント支援)	エリアマネジメント 支援担当課長	赤井 美加
	堺市 健康福祉局長寿社会部	長寿支援課長	副理事 前川 さゆり
京都市 都市計画局歩くまち京都推進室	歩くまち京都推進室長	梅澤 優司	
神戸市 福祉局障害福祉課	障害者施設担当課長	野田 晋哉	

概要

★ 設計の基本コンセプト (<https://www.youtube.com/watch?v=81tDFjAIQFA>)

- ・ 国際線キャパシティー拡大 : 国際線南北一体運用可能なレイアウトに
(面積25%アップ、国際線使用可能スポット増加)
- ・ エアサイドエリアの充実 : 出発までの快適な時間をより多く
- ・ 旅客体験の向上 : より魅力的でワクワクする空港体験を提供

★ 整備スケジュール

- ・ 2020年度 フェーズ0(設計)
- ・ 2021年度 ~ 2022年度 フェーズ1
(新・国内線エリア増築・改修、
国際線到着動線の増築、税関レイアウト変更)
- ・ 2022年度 ~ 2023年度 フェーズ2
(ランドサイド商業エリア、国際エアサイドエリア(中央)、出国審査場の新設)
- ・ 2023年度 ~ 2024年度 フェーズ3
(国際ラウンジエリア、新・入国審査場の新設、保安検査場エリア増築)

大阪・関西万博

- ・ 2025年度 ~ 2026年度 フェーズ4(国際商業エリア(南・北)新設)



進め方

★ 検討会の進め方（検討会は、コロナウィルス感染拡大防止のため、WEB会議と対面方式を併用）

- ① 関西エアポート(株)(KAP)より、実施設計を元に、リノベーション工事のバリアフリー対応説明
- ② 近畿分科会委員からの質問・要望をとりまとめ、検討会で意見出しを行う。
- ③ ②の意見等に対し、KAPから「実現可能」、「調整要」、「実現不可」に分類され、回答される。
- ④ 設計(案)に検討会の意見で実現可能なものを取り込み、工事した結果を近畿分科会が確認(検証)する。
(図面及び現地確認)

【対面】



【WEB】



現地見学会(令和3年3月19、22、24日実施)

かんさいこくさいくうこう
関西国際空港
びんらしさつ
現地視察ルート

だい がい
第2回...2021.3.22
09:00~12:00

Shaping a New Journey
KANSAI AIRPORTS

図面だけでは
分かりにくい動線等を、
実際に視察することにより、
新たな課題等がないか確認する。
(国内線・国際線、
保安エリアほか)

ルート③

だい がい ごきせんしゅく
【第1ターミナルビル3階】国際線出国エリア

きた 北
みなみ 南

しめいしんさつばい ざつしんし
出国審査場内は撮影禁止エリアとなります

09:20 ... きたがわ しゅくしんさつばい つうか の
北側の出国審査場を通過してシャトルに乗ります
くこうがわ じんび くるまいす しようかのう
(★) 空港側で準備した車椅子が使用可能となります

KANSAI AIRPORTS

ルート④

だい がい ごきせん
【第1ターミナルビル2階】国際線ゲートエリア

きた 北
みなみ 南

09:40 ... お ばん どうじょうじ かくにん
シャトルを降りて5番ゲートエリアで搭乗時の確認をします

KANSAI AIRPORTS

ルート⑦

だい がい けんさくがさじょう にはんさつばい てにもつうけとりじょう がい
【第1ターミナルビル2階】検疫検査場→入国審査場→手荷物受取場(1階)

きた 北
みなみ 南

すべ ざつしんし
全て撮影禁止エリアとなります

10:40 ... かくてつづ じょう つうか どうぐち で
各手続き場を通過して到着口に出ます

KANSAI AIRPORTS

ルート⑩

だい がい ごきせん
【第1ターミナルビル2階】国内線ゲートエリア

きた 北
みなみ 南

11:30 ... いちど てあら どう きんぐい と お
このあたりで一度、お手洗い等の休憩を取りたいと思います
ばん どうじょうじ かくにん
19番ゲートエリアで搭乗時の確認をします

KANSAI AIRPORTS

現地見学会(令和3年3月19、22、24日実施)

【保安検査場】



「ゲート幅」
通行に問題なし！

【国際線・シャトル】



段差があまりないので、
介助なしでも乗車できる。

【国際線・一般トイレ】



【国内線・ゲートエリア】
KAPの方に、車いすからの
目線を体験していただき
ました。

トイレ幅が狭い。
この部分も開けられ
たら利用できるのに。

【エスカレーター前】



視覚障害者等にとっては、
カート進入防止用ポールが
危ない！



トイレモックアップ検証会（令和3年4月20日実施）

【扉・開閉ボタン】

扉からの距離、高さは？



【折れ戸軌跡確認】



【移乗検証】

緊急ボタンの位置は？
ウォシュレット、洗浄ボタンの位置は？
トイレットペーパーの位置は？
手すりの位置は？



【多機能ベッド】

一人で持ち上げられる？
邪魔にならない位置は？



【洗面台】

奥行き、高さは？

【配置検証】

ゴミ箱の位置、大きさは？
サニタリーボックスの位置は？
オストメイト、ベビーチェア等の位置は？
荷物フックの設置位置、高さは？



奥行きがないと、こうなる。

第1フェーズ工事に向けて

【今後の進め方】

- ① テーマを設定し、少人数で、特性に応じた議題を開催
- ② 第5回検討会で対応方針を報告する。
- ③ フェーズ1の工事内容について、現地視察を実施する。



★ テーマ・議題(抜粋)

テーマ	障害種別	議題
トイレ	車いす	機能分散、一般トイレの個室対応、多機能トイレの備品配置
	聴覚	衝突防止ミラー、フラッシュライト、緊急時対応(ソフト面)
	視覚	音声案内、扉、ブース色
サイン	車いす・視覚	サインの見え方(大きさ、色、コントラスト、位置)
エレベーター エスカレーター	車いす	ミラー
	聴覚	エレベーター緊急時対応
	視覚	エレベーター設備、スロープ色、エスカレーター逆流防止
保安検査場	聴覚 知的・精神	保安検査のご案内の仕方(ソフト面)
カームダウン クールダウン	知的・精神 その他	配置、ブースの仕様、備品

※ 5つのテーマに分けて、計11回実施。

テーマ	実施日	出席者 障害種別	ディスカッションした内容
トイレ	7月 9日 7月26日	車いす 視覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの位置のわかりやすさ (マップ、触知図、トイレ内の明度、ダウンライトの位置、床と壁の色) ・ トイレの設置位置(空港内に均等に設置してほしい) ・ トイレの自動扉の開閉設定 ・ 水栓の形状(手をかざす、自動) ・ 個室の備品関係 (汚物入れの位置、男性用トイレにも汚物入れ設置、ペーパーホルダー・呼び出しボタン、荷物掛けの位置、足元まで見える鏡の設置)
サイン	8月16日 9月 3日	車いす 視覚 知的 聴覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ サインの見え方(色盲や色弱への対応) (文字の大きさ、色、コントラスト、照明位置との兼ね合い、設置場所) ・ ピクトグラムのわかりやすさ、漢字が読めない方(外国人を含む)への対応 (ルビやひらがな表示) ・ 緊急時案内方法(音声と映像を併用して活用する、パトランプの設置) ・ デジタルサイネージの活用 ・ QRコードを利用した案内方法(アプリ活用)
エレベーター エスカレーター	7月19日 8月27日	車いす 視覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ エレベーターの仕様(最大定員、鏡の位置、操作ボタンの形状) ・ エスカレーターの仕様 (音声案内の音量、音声で案内する情報、入口前のポール、誤進入防止ブザー) ・ 固定橋への車いす搬入エレベーターの設置 ・ エレベーター緊急時対応用にQRコード利用

テーマ	実施日	出席者 障害種別	ディスカッションした内容
保安検査場	7月16日 8月20日	車いす 視覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 搭乗者のボディチェック時、担当者の性別(異性対応)、声かけ方法について ・ 各場面(チェックイン・保安検査場・搭乗前)における航空会社・保安検査会社間での搭乗者の情報共有について
カームダウン クールダウン	7月12日 8月 6日	知的 精神 車いす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置してほしい場所(保安検査場より前?後?、搭乗口付近?) ・ ブースの仕様(個室タイプ?、照明、防音、壁の固さ、使用中表示) ・ 備品(リクライニングチェア、ソファ、ベッド、アイキャッチ、タイマー) ・ 非常時の案内方法 ・ ソフト面(スタッフからの声かけの必要性、タイマー音の種類)
全般 (サイン以外)	8月 2日	聴覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュライトの設置個所(トイレ、授乳室など)の確認 ・ エレベーター緊急時対応(QRコード、文字情報など) ・ ソフト面(保安検査のご案内の仕方(筆談など)、スタッフの手話対応) ・ 衝突防止ミラー

WEB



対面参加の方の現地視察や会議室でのサンプルをWEB参加者にも確認できるように対応。



フォローアップ会(対面&WEB)

対面



【カームダウン・クールダウン】

障害当事者の要望により、話をしやすい雰囲気作りを演出。

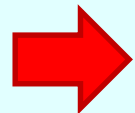
- ・カフェでおしゃべりするような感じ
- ・イメージしやすいように、模型で確認
- ・リラックス効果のあるアロマ(ローズマリー、ラベンダー)&おやつ。



リノベ工事で対応可能となったこと

※ 第4回検討会(令和3年6月21日)報告

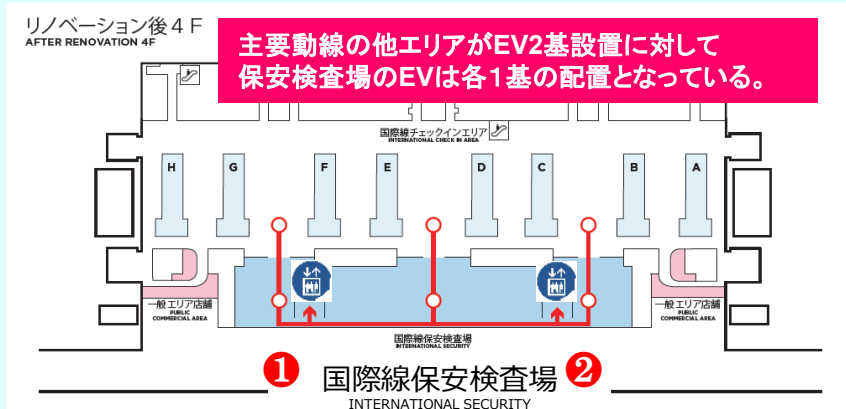
一般トイレ	機能分散	近隣に授乳室がある場合は、ベビーシート設置取りやめ 車いす優先トイレを設置
	一般トイレに車いすで利用可能な個室の設置	奥行寸法を、1900～2000mmに広げる。 (新設トイレ22カ所のうち11カ所)
	車いす対応の洗面台設置	足元スペースの確保、洗面鏡高さ変更
	個室ブースの工夫	折れ戸の表裏の色を変えて、使用中か一目で分かるようにする。 フラッシュライトの設置
	トイレ入口に音声案内の設置	
多機能トイレ	レイアウト	男女共用できる位置に設置(異性介助者等への対応のため)
	緊急呼び出しボタン	便座に座っている状態、転倒時に対応できる位置に設置
	開閉スイッチ	押しやすい位置に変更
	荷物掛けフック	利用しやすい高さに変更
階段	2段手すりの設置	
カームダウン クールダウン	出国手続き後のエリアに4カ所設置(国内線保安検査場の前後2カ所など)	



今後のスケジュール… 2022年9月頃 現地視察
2022年9月～ 第2フェーズへ。

エレベーターフォローアップ
(2022年3月31日実施)

【課題】: 第1ターミナル4階保安検査場から3階出国審査場へのEV1は、2台並列ではなくカゴサイズも小さい。
⇒ 既施設設改修の為、様々な制限があるが改善できないか再検討。



原設計 15人乗 内寸 W1400mm × D1350mm、出入口幅800mm

→ カゴサイズ見直し 26人乗 内寸 W1500mm × D2500mm、出入口幅1200mm かつ 片袖(片開き戸)

⇒【モックアップ検証】 机上では車椅子2台の同乗は可能と想定していたが、本検証で4台同乗が可能と分かり
カゴのサイズの大型化・出入り口幅の拡幅、並びに片袖化にする効果は大きいことがわかった。



■概要

広島市では令和3年11月から、障害者が安心してサービスを利用できるよう、「3つの心構え」を掲げ、それを実践するための取組を行っていることを宣言する事業者を「みんなのお店ひろしま」宣言店として募集し、HPで事業者の取組内容等を公表している。宣言店は宣言書とステッカーを店頭に掲示し、年1回取組報告を行う。令和4年7月末時点で、10店舗が宣言店となっている。

■3つの心構え

- ①入店・サービス拒否をしない。
- ②合理的配慮の提供に努める。
- ③心のバリアフリーを大切にする。



■市のHPで店舗や取組を紹介

広島市 The City of Hiroshima

総合トップページ > 暮らし・手続き > 事業者向け情報 > 観光・文化・スポーツ

現在地: 総合トップページ > 分類ですが > 暮らし・手続き > 福祉・介護 > 障害児・障害者 > 「みんなのお店ひろしま」

定跡: 総合トップページ > 検索結果一覧 > 「みんなのお店ひろしま」宣言

ページ番号: 0000242674 更新日: 2022年6月1日更新

■取組項目

取組項目	取組の内容
情報保障・意思疎通	手話、要約筆記、点字、音声案内、音声コード等を用いた、情報・意思疎通に関する取組 【例：メニューや説明書への点字表示や音声コードの印字】
施設整備	スロープ（段差解消）、手すりの設置等、施設の整備に関する取組 【例：店舗の入り口の段差解消やトイレ内への手すりの設置】
環境整備	（ア）筆談ボード、折りたたみ式のスロープ、来客用車いす等、物品の配置に関する取組 【例：筆談ボードの配置（周知を伴うもの）】
	（イ）机やいす等の配置等の工夫に関する取組 【例：車いすの方の利用ができる動線と席の確保（周知を伴うもの）】
	（ウ）対応マニュアルの策定や研修の実施等に関する取組 【例：手話対応を想定した手話勉強会の定期的な実施】

「みんなのお店ひろしま」宣言

1. 概要

広島市では、事業者及び市民が一体となって障害を理由とする差別の解消に取り組み、障害のある人もない人も住み慣れた地域で支え合い、自立しながら、暮らしと生きがい、地域を共に創る「まち」広島の実現を目指しています。

そこで、障害を理由とする差別をなくし、誰もが安心してサービスを利用できるよう、「みんなのお店ひろしま」が大切にする「3つの心構え」を掲げ、それを実践するための取組を行っていることを宣言する事業者を「みんなのお店ひろしま」宣言店として公表し、取組内容を広く知ってもらうとともに、その取組を応援することで、障害のある人となない人が相互理解を深め、障害者差別の解消に向けた取組をさらに広げていきたいと考えています。

2. 対象事業者

市内の飲食店・小売店・サービス事業所で事業を行う者（※1）であって、この店舗における障害者への対応として大切な3つの心構えを掲げ、それを実践するための取組を行っていることを宣言し、本市のホームページ等で店舗の情報や取組内容を公表することを希望する者。

※1 対価を得ない無報酬の事業を行う者、非営利事業を行う社会福祉法人や特定非営利活動法人等を含みません。

3. 「みんなのお店ひろしま」が大切にする3つの心構え

○入店・サービス拒否をしません

障害を理由として、正当な理由なく入店やサービス提供の拒否、制限、条件を付けるなどの対応をしません。

■概要

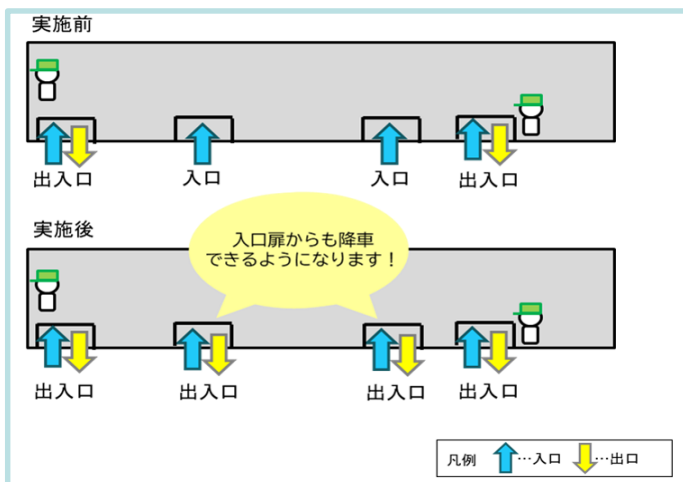
広島電鉄株式会社は、平成30年5月から1000形車両限定で、かつICカード単独利用者に限り、乗車専用の中扉からも降車できるサービスをスタートした。令和4年3月からは1000形車両以外の連接車両にも同サービスを拡大し、8月上旬には営業運行に使用するほぼ全ての連接車両へ導入が完了している。現金や一日乗車券での利用や、1枚のICカードで複数人利用する場合等は従来通り乗務員のいる扉から降りる。

■メリット

- 降車時の車内移動距離の低減
- 乗降時間の短縮
- 出口扉近くの車内および電停混雑の緩和

これらの効果により、よりスムーズに電車をご利用いただくことを目指す。

■実施前後の比較図



■HPで利用方法周知



混雑時もICカードでピッと快適！ラクラク乗り降り！



ご乗車の際は、お降りのお客様をお待ちください。

ICT(情報通信技術)を活用した支援技術・支援教育の先進的な研究に取り組む国立大学法人香川大学(以下「香川大学」)と「アシストガイド*」を提供するソフトバンク株式会社(以下「ソフトバンク」)は、共同で、知的・発達障がいのある児童が、一人で路線バスに乗り通学経路を移動する実証実験を実施した。(2021年11月に鉄道での実証実験済み)

◎実験概要(2022年7月4日)

知的・発達障がいのある児童が、「アシストガイド」を活用して、高松市内の路線バスに乗車し、駅と特別支援学校間を往復する実際の通学経路を一人で移動することができた。公共交通機関を利用することへの不安を払拭し、見通しを持って移動できるようになることで、知的・発達障がいのある人の就学や就職、余暇における生活の質の向上につなげていく。

実験に参加した児童の保護者からは、「アシストガイドを使うことで、いろいろなことができるようになり、子どもの世界が広がった」との声が届いている。



*アシストガイド

ソフトバンクが提供している、困りごとを抱える人(例として知的・発達障がいのある人)のためのアプリケーション。「やること」や「やり方」を可視化することで、困りごとを抱える人がひとりで行動し、本来の力を発揮できるようにアシストする。香川大学とソフトバンクは共同で、アシストガイドの機能の向上や、活用方法の調査、実証実験などを実施している。

●令和3年11月16日に宮崎港において、宮崎県内の旅客船事業者の乗組員をはじめとする従業員を対象に、障がい当事者や福祉団体、施設設置管理者、地方公共団体等、幅広い団体等の協力のもとバリアフリー講習会を開催した。



(講演の様子)



(連絡通路の車いす移動体験)



(船中での車いす移動体験)



(船中での車いす介助体験)

実施内容

- ・「旅客船事業者に求められること」と題して座学を実施。
- ・フェリーターミナルにおいて、乗船手続きからフェリーへの移動、乗船、船内移動の車いす体験を実施。

【協力】

宮崎カーフェリー(株)、(一社)宮崎県介護福祉士会、
(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
NPO法人障害者自立応援センターYAH! DOみやざき、
(一社)日本福祉のまちづくり学会、宮崎県、宮崎市、
(公財)宮崎県観光協会

【主催】

(公財)九州運輸振興センター、九州運輸局

【まとめ】

乗組員等が不安に思っていることを質問することができ、それに対して講師(障がい当事者)の方に答えていただくことにより、より理解を深める教室となった。

参加者からは、「まだ足りない点があった。」「今後の対応に活かしたい。」といった感想があり、ソフト面の充実を図る機会となった。

●別府・大分バリアフリーツアーセンターと別府市は、令和4年7月6日に「別府市ユニバーサルツーリズム強化フォーラム」を開催。ユニバーサルツーリズムにおける経営の考え方や、様々なゲスト受け入れにかかる講演やパネルディスカッションを行った。

別府市ユニバーサルツーリズム推進事業 **参加費 無料**

諸かる！新しい旅のありかた！

令和4年7月6日（水）午前の部 10時00分～12時00分 / 午後の部 13時00分～16時30分
【会場】別府国際コンベンションセンター（ビーコンプラザ）国際会議室

司会 勝谷有史氏 （有限会社なにわ旅館 代表取締役社長）	講師 小原健史氏 （和屋別荘 代表取締役会長）
---	--------------------------------------

「できることから始める観光としてのユニバーサルツーリズム」
「お客様も従業員も笑顔に」

「講義」
バリアフリーなユニバーサルな観光や事業を推進する！
「どのような設備のゲストも受け入れられる観光づくり」

午前の部	午後の部
10:00-10:15 開会挨拶 勝谷有史氏	13:00-14:30 講演 小原健史氏
10:15-11:45 講演 小原健史氏	14:30-14:45 開会挨拶
11:45-12:00 質疑応答	14:45-15:00 休憩
12:00-12:00 休憩	15:00-16:10 パネルディスカッション
	16:10-16:25 質疑応答
	16:25-16:30 閉会挨拶/終了

Zoom QRコード
Zoom Meeting ID: 80
先着 80名



（講演の様子）

（パンフレット）

フォーラム概要

- 【開催日時】令和4年7月6日（水）10:00～16:30
 - 【主催】別府・大分バリアフリーツアーセンター、別府市（事務局）NPO法人自立支援センターおおいた
 - 【実施内容】講演、パネルディスカッション、質疑応答（講演）
- 有限会社なにわ旅館 代表取締役 社長 勝谷有史氏
和屋別荘 代表取締役会長 小原健史氏

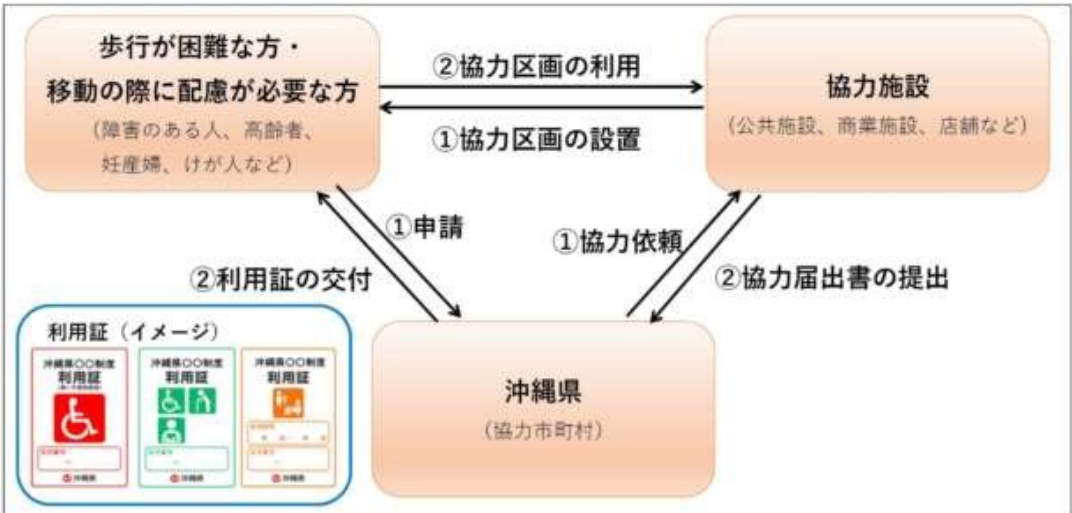
趣旨

2025年を境に人口の30%以上が高齢者となり、また現在日本全体の障害者数は967万人と人口の約7.8%を占める。日本人口の約40%が高齢者・障害者となることから、全国でユニバーサルツーリズムを推奨する動きが始まっており、これまでの福祉目線のバリアフリーから、高齢者・障害者を受け入れられる体制を整えておかなければ、事業が成り立たなくなる可能性がある。各事業者がこれまでと見方を変え、高齢者・障害者が安心して旅を楽しむための観光戦略を考えていく必要がある。そのために、別府市内のみならず、全国の事業者とのつながりが重要で、新しい旅のあり方を考える機会を作っている。



（パネルディスカッションの様子）

沖縄県版のパーキングパーミット制度として沖縄県ちゅらパーキング利用証制度を導入。
 令和4年7月現在で、本県を含め41府県4市が導入しており、県内では、那覇市、浦添市が導入済み。
 協力施設を募集し、186の施設が協力(8月15日現在)。
 今後、同様の制度を導入している県外の自治体と相互利用に関する協定を締結することを予定している。



【路面シートのデザイン】

沖縄県 ちゅらパーキング 利用証制度
 (障害者専用駐車区画)

「ちゅらパーキング利用証制度とは」
 公共施設や商業施設、店舗などに設置されている障害者専用駐車区画を適正にご利用いただくために、障害のある人、高齢者、妊産婦などのうち、歩行が困難な方、移動の際に特別な配慮が必要な方に、共通の「利用証」を交付する制度です。
 必要とする方の駐車区画を確保するために、ご理解とご協力をお願いします。

利用証は3種類あります
 交付対象者、申請方法は裏面をご覧ください。

この案内表示のある駐車区画が利用できます

車いす使用者が乗車する際は、利用証をルームミラーにかけて使用してください。

協力区画の募集・登録のお願い

車いす使用者が乗車する際は、協会の駐車区画が必要ですが、この制度では、車いす使用者の駐車区画を確保するために、新たな優先区画(プラスワン区画)の設置をお願いします。

車いす使用者優先区画(幅広区画)
 既存の障害者専用駐車区画(車いすマークのある区画)をそのまま協力区画として登録いただけます。新たに区画を設置する必要はありません。

プラスワン区画(通常幅区画)
 通常の駐車区画のうち、施設の入出口に近い位置にある区画を、協力区画として登録いただけます。区画幅の変更(ラインの引き直し)は必要はありません。

駐車場のある施設管理者の皆様は、協力区画の登録をお願いします。
 登録いただいた施設は県ホームページで紹介させていただきます。
 登録は、電子申請、メール、郵送による方法がありますので、詳細は専用ホームページをご覧ください。

協力区画の電子申請はこちらから

ちゅらパーキング制度専用ホームページ
 沖縄県ちゅらパーキング 検索

交付対象者		
交付基準 (障害者手帳の等級など)	有効期間	申請に必要な添付書類
1級～4級	なし	身体障害者手帳
1級～5級		
1級、2級	なし	精神障害者保健福祉手帳
1級～6級		
1級～5級	なし	介護保険被保険者証
1級、2級		
1級～6級	なし	各受給者証等
1級～4級		
A1、A2	なし	母子健康手帳
1級		
障害者総合支援法の対象となる疾患に罹患している者(特定医療費(指定難病)受給者等) 特定疾患医療受給者 小児慢性特定疾病医療受給者	1年未満で必要な期間	医師の診断書等、本人確認書類

申請方法
 ジカダウンロードできます)に必要な添付書類を添えて、窓口又は郵送で代理で申請する場合には、代理人の本人確認書類が必要となります。

郵送申請
 県障害福祉課では、郵送での申請を受け付けています。交付申請書類のほかに利用証を送付するための切手(10円)が必要となります。

お問い合わせ・郵送による申請先
 沖縄県子ども生活福祉部 障害福祉課 計画推進班
 〒900-8570 沖縄県那覇市中央1-2-2
 電話:098-866-2190 FAX:098-866-6916

【周知用チラシ】